

寅さん歩 その 18

東京の学食めぐり-2



平野 武宏

「寅さん歩」の愛読者から「学食めぐり」をテーマに取り上げて欲しいとの要望がありました。最近是一般の人も食べられる学食が増えていますので、新シリーズとして東京にある大学キャンパスの学食をめぐり・紹介します。このテーマは訪れるだけでなく、実際に食べて・コメントが必要です。取材やコメントでは関係者にご迷惑をかけないよう配慮します。コメントはあくまでも「寅次郎の好み・独断」としてお読みください。構内の写真撮影は建物外観のみで人物が写り込まないことが原則です。

今回は六大学野球、ラグビーなどスポーツ等を早慶戦（慶応からは慶早戦）として競い合っている両大学の学食めぐりです。

メニューや値段は訪問時のものです。右上写真はパンダの食事風景です。食べ過ぎて、こんなに太らないように注意です。

その-1 を読んだ FWA スタッフ仲間の Y さんから「大学グッズで大学饅頭などお土産を売っている大学があるので探してみたら」とのアドバイスをいただきました。今回から取り上げます。

最寄り駅は代表例です。

「慶応義塾大学」 港区三田 2-15-15 最寄駅 JR 線 田町駅

中津藩士の福澤諭吉（現在の一万円札のお方）が藩命により江戸築地の鉄砲洲（現在の中央区明石町）の中津藩中屋敷内に安政 5 年（1858 年）に開校した蘭学塾を起源に持つ大学です。

慶応 4 年／明治元年（1868 年）芝新銭座（現在の浜松町）有馬家控え屋敷跡に移転、年号をとって「慶応義塾」と決めました。

明治 4 年（1871 年）現在地の三田 島原藩中屋敷跡に移転。

大正 9 年（1920 年）大学設置。塾訓である「独立自尊」を教育の基本とし、カリキュラム制定を始め、近代的教育システムのほとんどを日本で最初に導入した学校といわれます。

寅次郎の母校ですが、1～2 年生は神奈川県の日吉キャンパスなので、2 年間の三田キャンパスは印象が薄い感があります。

駅から慶応仲通り商店街を進み、桜田通りの三田二丁目を渡り、

右方向(東京タワー方向)に行くと東門です。左方向が正門です。
いずれかの受付で「見学したい」と言うと三田キャンパス ガイドがもらえます。正門から入り、階段上の建物 4F に新しい学食
「ザ・カフェテリア」があります。営業時間 11 時～14 時。



東京タワーを眺めて食べるランチタイムは
塾生・一般の女性で賑わいます。
女性向きの多いメニューからレディスランチ
サラダ・デザート付(男性も可) 620 円を東京タワーのてっぺん
を眺めながら、いただきました。玉子と海老がのるドリアです。

大いちょうの広場左手の西校舎 1F の「山食」は昭和 12 年創業
以来、全メニュー手作りで変わらぬ味を守っているとのこと。
寅次郎、昔食べたカレーを食べようと思いました。日替わりで当
日はハヤシライス 360 円で、ボリュームがありました。
「三色旗」が掲げられた食堂は体育会系を感じさせる雰囲気 of 食
堂です。平日の営業時間は 10 時 30 分～16 時。



西校舎の B 1F には生協食堂があります。カフェテリア方式の
食堂でお好きな単品を選
びます。カレーや麺類もあ
ります。平日の営業時間
10 時 30 分～16 時 30 分。



三田キャンパスには個性ある3つの学食がありました。

慶早戦で勝利後の応援歌「丘の上」で歌われる三田の山の構内は狭いですが、歴史を感じさせる建築群は必見です。但し、図書館旧館は2016年秋から2年をかけて耐震補強・改修工事中です。



東門



図書館旧館（国重要文化財）



三田演説館は我国初の演説会堂で開館は明治8年。明治初期の西洋建築の遺構として国の重要文化財で前は福澤諭吉像。

キャンパスガイドにオリジナル慶応グッズの紹介がありますが、食べ物はなく、「慶應の水」が10号館前の自販機で販売と記載。100円で購入しました。山梨県富士吉田市採水のナチュラルミネラルウォーターですが、心なしか学問の味がしました。西門に近い生協売店には慶應義塾大学オリジナルクッキー・ショコラ・ミントがあり、許可をもらい撮影。



キャンパス ガイドに東門脇「文銭堂本舗」の紹介があり、手付け最中「学問のすめ」(福澤諭吉著書の名)をオリジナル和菓子でお土産として販売。上品な甘さとのこと。



〔早稲田大学〕 新宿区西早稲田 1-6-1

最寄駅 東西線 早稲田駅

江戸時代末期の蘭学校「北門義塾」の意思を受け継ぎ、隣地に大隈重信が明治 15 年(1882 年)創設した東京専門学校が前身です。明治 35 年(1902 年)地名を取り、早稲田大学と改称。大正 9 年(1920 年)大学設置(慶応と同時期です)「学問の独立」を理念とし、学びたい人を拒まない、開かれた大学として門柱や塀が存在しない「無門の門」が象徴的とのこと。

早稲田駅からは馬場下町交差点を右折、南門・正門です。寅次郎の住む大塚駅前からは都電荒川線で学習院下を通り、都電早稲田駅までは約 14 分で行けます。駅から右手の早大入口仲通りを直進すると大隈記念講堂のある早稲田キャンパスです。JR 高田馬場駅からは都バスや徒歩でも早稲田キャンパスに行けます。

構内の学食・売店は大学生協が一手に仕切っています。学食は大隈庭園を下に見る大隈ガーデンハウス(25 号館)2F と 3F にあります。



平日の営業時間、2F は 10 時 30 分～14 時、3F は 11 時 15 分～19 時 50 分。メニューは 2F の方が多いようです。オススメの季節限定 祭井 2017 450 円（写真下右）から揚げを半熟卵でからめて美味しくいただきました。単品のおかずでカフェテリア スタイルでも食べられます。



グラント坂通りにも 8 時から営業の生協食堂がありました。大隈庭園は「井伊掃部頭・松平讃岐守の下屋敷で和様四条家風の名園を大隈重信が文人風に改造した。没後、邸宅と共に早稲田大学へ寄贈」と記載。協の大隈会館には教職員レストラン「楠亭」がありますが、13 時から一般の人でも利用可とのこと。

大隈記念講堂脇の早大通り沿いにある大隈記念タワー（26 号館）15F にレストラン「森の風」（昨年オープン）があり 1,000 円ランチが最高の眺めで食べられます。

食事の後は、大隈庭園→大隈記念講堂→正門→大隈重信像→（左手に）會津八一記念博物館→（右折して）坪内博士記念演劇博物館の順に見学してはいかがでしょうか。



大隈庭園



大隈記念講堂



正門（前方に大隈重信像）



大隈重信像



會津八一記念博物館



坪内博士記念演劇博物館

グラウンド坂通り上の 17 号館の生協売店で早稲田饅頭を探しましたが、入学の時期などイベントの際にしか置いていないとのこと。早稲田キャラメル・早稲田あられ（写真下右）がありました。大隈庭園近くのユニショップには早稲田クッキーがありました（写真下左）



FWA スタッフ仲間の早稲田 OB の K さんに聞くと六大学野球早慶戦で勝利した後、歌う代表的応援歌は「紺碧の空」だそうです。

近くには戸山キャンパス（文学部）、西早稲田キャンパス（理

工学部) があり、両キャンパスにも学食があります。

次回は 東京の学食めぐり-3です。

平野 寅次郎 拝